

## 多田川水系河川整備計画(案)についてのアンケート調査結果

福井県では、多田川水系河川整備計画の原案について、学識経験者の意見を聞くとともに、住民のみなさんのご意見も参考とするため、平成15年8月20日に住民説明会を開催し、その内容についてアンケート調査を実施しました。

また、住民説明会に参加いただけなかった方々にも、多田川水系河川整備計画原案の縦覧とアンケート調査を実施して、その結果を整理しました。

### アンケート調査実施日

「多田川水系河川整備計画(案)住民説明会」の当日および事後

当日アンケート調査 : 平成15年8月20日(水)

<住民説明会> 会場: 今富公民館 時間: 18:30~20:00

事後アンケート調査 : 平成15年9月1日(月)~9月12日(金)

<原案縦覧およびアンケート会場>

小浜土木事務所1Fロビー

小浜市役所1Fロビー

雲浜公民館窓口

今富公民館窓口

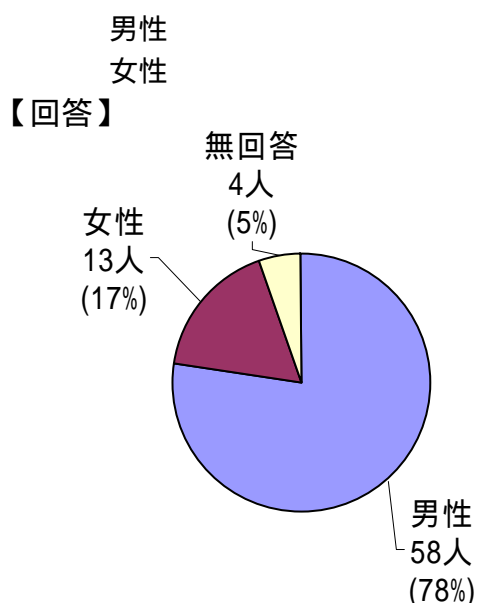
### アンケート調査について

アンケート回収結果: 34(当日) + 41(事後) = 75回答

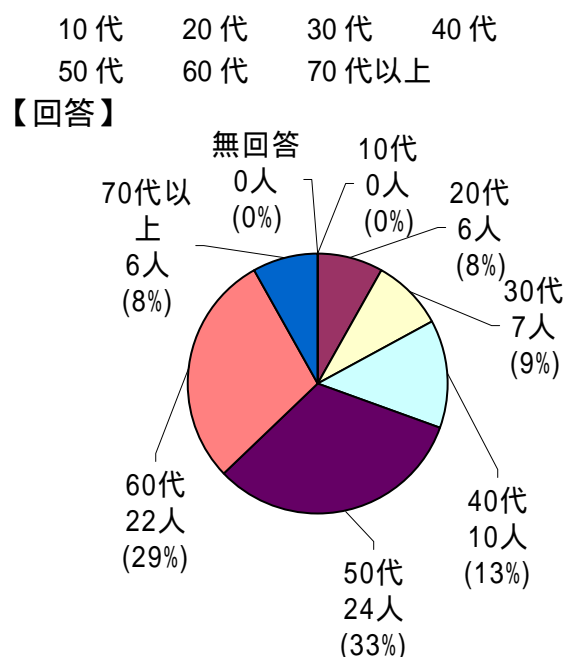
設問数 : 全7設問(【設問1.】~【設問7.】)

### アンケート調査結果

#### 【設問1.】性別



#### 【設問2.】年齢



<【設問1.】と【設問2.】の結果要旨>

男性の割合78%と多いが、比較的幅広い年齢層からの回答を頂きました。

50代~60代(昭和20年代前後生まれ)の方が回答の62%でした。

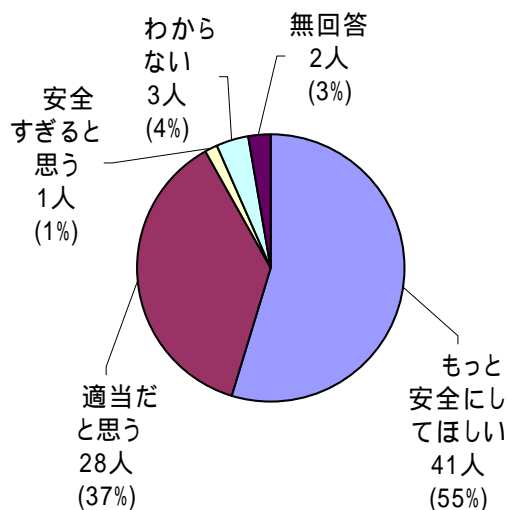
### 【設問 3 .】治水整備の目標について

多田川・森川の河川改修における治水整備の目標設定にあたっては、全国的な考え方を参考にし、30 年に 1 回程度発生する降雨によって起こる洪水に対応できる河川断面の確保を計画しています。

整備計画の治水の目標設定について、どのようにお考えですか？（1つ選択）

もっと安全にしてほしい  
適当だと思う  
安全すぎると思う  
わからない

【回答】



### 【対応】

(1) 治水対策に対する住民意識（アンケート回答結果から）

アンケートの回答から「もっと安全にして欲しい55%(41人)」、「適当だと思う37%(28人)」併せて92%の方が治水安全度向上のための河川改修を望まれています。



『治水安全度向上のため、河川改修を実施します。』

(「多田川水系河川整備計画(案)」P.7 参照)

(2) 治水対策に対する自由意見（【設問 7 .】自由意見から）

治水対策に対する具体的な住民要望

- 1)昔と同じような災害に泣かされないよう改修してほしい。(自由意見：事後 13.)
- 2)都市化等を考慮し少しでも余裕をもって改修してほしい。(自由意見：当日 30.)

「もっと安全にして欲しい55%(41人)」の理由

55%(41人)の方が「もっと安全にしてほしい」と答えています。その理由を自由意見から整理すると、昭和28年災害の経験を背景に「より安全な治水整備(当日30.、事後2.13.16.18.21.)」が望まれています。



### 【河川管理者の回答】

- 1)多田川の治水安全度の目標は、計画規模の設定に関する全国の事例等を参考にして1/30年計画規模としていますが、これは「県内の他河川とのバランス」や「費用対効果」等からみても適正なものと判断しています。
- 2)昭和28年の洪水被害が甚大なものとなった原因は、南川の堤防決壊によるものでした。河川改修後は現況に比べ河道断面が大きくなるため、仮に昭和28年洪水規模の雨が多田川流域に降った場合でも、沿川の水田が浸水する程度に被害は軽減されるものと考えています。

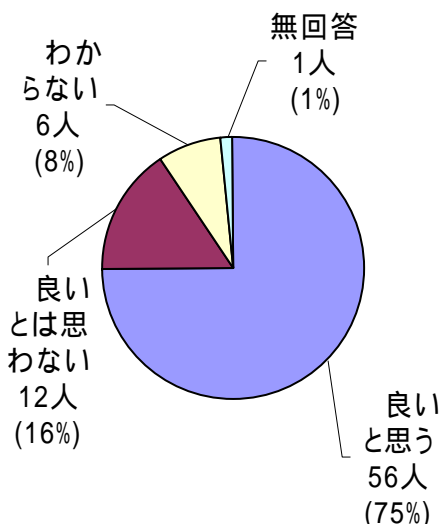
## 【設問 4 .】河川環境・生態系への配慮について

多田川・森川の河川改修にあたっては、河岸の緩傾斜化や植生の自生・回復、瀬・淵の形成を図るなど、河川環境の保全と回復や生態系への配慮に努めます。

河川環境の保全について、どのようにお考えですか？（1つ選択）

良いと思う  
良いとは思わない（理由： ）  
わからない

【回答】



注)「 良いとは思わない」の「(理由： )」は  
【設問 7 .】に併せて整理しました。

### 【対応】

(1) 河川環境、生態系への配慮についての住民意識（アンケート回答結果から）

アンケートの回答から、河川改修に当たり河川環境の保全対策を実施することが「 良いと思う」と答えた方が75%(56人)を占めました。多くの方が河川環境、生態系への配慮を求めています。



『河川環境の保全対策を実施していきます。』

(「多田川水系河川整備計画(案)」P.7,P.8,P.10 参照)

(2) 河川環境、生態系への配慮についての自由意見（【設問 7 .】自由意見から）

河川環境保全に対する具体的な住民要望

- 1)水際の植物群など生物の棲息場所となる水辺空間が大切である。(自由意見：事後 31.)
- 2)ホタルなど貴重な生物の住める川づくり。(自由意見：事後 32.)

「 良いとは思わない 16%(12人)」の理由

16%(12人)の方が「 良いとは思わない」と答えています。その理由を自由意見から整理すると、6名の方が「生態系よりも地域住民の安全が最優先(当日 14.17.28.、事後 8.10.12.)」と述べられています。



【河川管理者の回答】

- 1)【設問 3 .】の回答に示したように、治水安全度は現状に比べ改善されます。
- 2)また、治水を犠牲にしてまで配慮しているものではなく、治水安全度を確保した上で、よりよい河川環境が維持・復元されるよう配慮した改修を進めます。

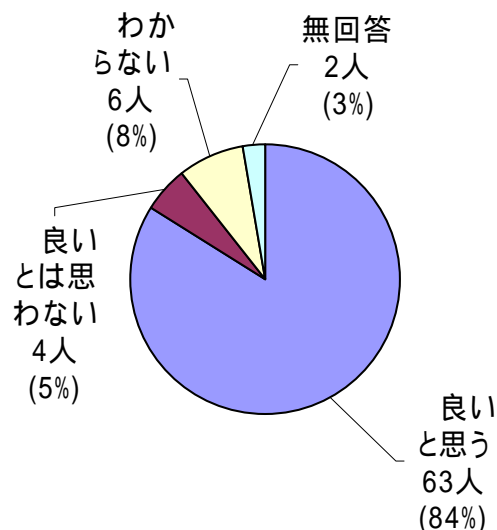
## 【設問 5 .】 親水整備について

多田川・森川の河川改修にあたっては、階段の設置や河岸の緩傾斜化など、住民の皆さんが水辺に近づけるような工夫を計画しています。

親水機能の向上について、どのようにお考えですか？（1つ選択）

良いと思う  
良いとは思わない（理由： ）  
わからない

【回答】



注)「 良いとは思わない」の「(理由： )」は  
【設問 7 .】に併せて整理しました。

## 【対応】

(1) 親水整備についての住民意識（アンケート回答結果から）

アンケートの回答から、親水整備を実施することが「 良いと思う」と答えた方が 84% (63人)を占めました。多くの方が親水整備を求めています。



『親水整備を実施していきます。』

(「多田川水系河川整備計画(案)」P.7,P.8,P.10 参照)

(2) 親水整備についての自由意見（【設問 7 .】自由意見から）

親水整備に対する具体的な住民要望

- 1) 緩傾斜護岸の利用方法や階段工等の設置してほしい。(自由意見：事後 16.18.28.)  
例)ベンチ、遊歩道、階段護岸(水難救助のためにも)
- 2) 河川敷内にふれあう場を作るべき。草が大きくなり近づけない。(自由意見：事後 28.)
- 3) 下水道の完備 水質の改善要望。(自由意見：当日 23.27.)

「 良いとは思わない 5%(4人)」の理由

5%(4人)の方が「 良いとは思わない」と答えています。その理由として自由意見から「下水が流れ込み汚い(当日 23.)」、「草木が繁茂し近づけない(事後 11.)」と述べられています。



【河川管理者の回答】

- 1) 水辺へのアクセスが容易となるよう階段工や緩傾斜護岸を採用します。
- 2) 小浜市が実施する公共下水道整備により、今後、水質の改善が見込まれます。なお、河川の水質については、流域内の住民や企業が一体となって、河川の美化等に取り組むことにより保持できるものですので、ご協力をお願いします。
- 3) 水質観測を実施して水質変化を把握に努めます。

## 【設問 6 .】維持管理について

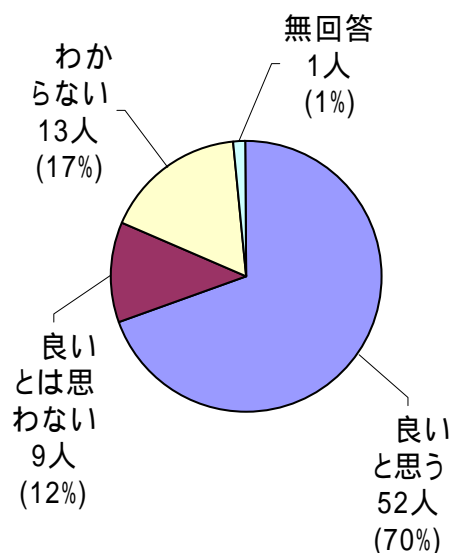
整備計画では、将来へ良好な河川環境を引き継いでいくため、また、河川と住民の皆さんとの関係をより緊密にしていくために、河川愛護精神の醸成が重要と考え、住民参加による河川の維持管理を提案しています。

地域と協働した維持管理活動(除草、ゴミ掃除など)について、どのようにお考えですか？  
(1つ選択)

良いと思う  
良いとは思わない(理由: )  
わからない

【回答】

注)「 良いとは思わない」の「(理由: )」は  
【設問 7 .】に併せて整理しました。



### 【対応】

(1) 維持管理についての住民意識(アンケート回答結果から)

- 1) アンケートの回答から、地域協働の維持管理活動が「 良いと思う」と答えた方が70%(52人)を占めました。
- 2) しかし、「 良いとは思わない12%(9人)」、「わからない17%(13人)」と合計29%の方に地域協働の維持管理活動に理解が得られていません。



『地域協働の維持管理活動の啓蒙と推進に努めます。』

(「多田川水系河川整備計画(案)」P.11 参照)

(2) 地域協働の維持管理活動についての自由意見(【設問 7 .】自由意見から)

地域協働の維持管理活動に対する具体的な住民要望

- 1) 維持管理の必要性は認識されている。(草刈り、除草)(自由意見: 当日 17.、事後 8.17.)
- 2) ゴミ防止PR活動、ゴミ防止柵の設置など環境美化の取り組みが求められています。  
(自由意見: 事後 11.16.)

「 良いとは思わない12%(9人)」の理由

12%(9人)の方が「 良いとは思わない」と答えています。その理由を自由意見から整理すると、「(一部の)住民の負担(当日 26.28.30.、事後 15.17.)」、「住民全員参加は難しい(当日 26.、事後 11.15.)」と述べられています。



### 【河川管理者の回答】

ゴミの不法投棄、草刈りなど常日頃からの管理においては、住民のみなさんの協力が欠かせません。河川愛護の精神を住民のみなさんと共有し、みんなで多田川を守っていく関係を築いていきたいと考えています。

## 【設問 7 . 記述で頂いた自由意見】

アンケートで記述頂いた自由意見の全文を転記しています。また、【設問 4 .】～【設問 6 .】についての「 良いとは思わない(理由: )」の自由記述についても併せて整理しています。

(各ご意見の表示番号は、当日および事後のアンケート回答の整理番号です。)

~~~~~

### 『設問 3 . 治水整備の目標について』に関する意見

#### 1 . 「 もっと安全にしてほしい」と答えた方のご意見

(当日 30 .) 都市化が進んで今まで田畑が遊水池として働いていた機能が失われて行くのが明白な時、少しでも余裕を持って改修しておいてほしいと願う。

(事後 2 .) 治水整備の目標は S28 年の降雨量や新たに配慮される環境配慮計画等を加味し、安全係数としても少し余裕を持った目標にすべきではないか。河川環境や生態系への配慮、親水整備等は河川改修の必要条件ではあるが十分条件とはならない。治水整備目標の完遂のための充分に必要な条件を事前検証されるよう希望する。

(事後 13 .) 毎日のように川沿いを通りますと、川の中には雑草が生い茂り「水を流す」という本来の川の役目が、雨量が増えた場合に果たせるのかなと疑問に思います。「水がスムーズに流れる川」が基本だと思えます。昔から天災に何度となく泣かされてきた住民が安心して暮らせるように、また、21 世紀のこの時代に昔と同じような災害で泣くことがないよう改修に取り組んでほしい。

(事後 16 .) 付近の住民への浸水の程度はどうか？ 30 年に一度を想定しているがその折りにはどの程度か？

#### 2 . 「 適当だと思う」と答えた方のご意見

(事後 18 .) 地区住民は昭和 28 年の水害の経験から河川改修とは S28 災に対応できるものと思っている。今回の計画が 1/30 年であること、なぜ 1/30 年としたかを十分に説明し理解を得ないと、改修後 1/30 年以上の降雨により浸水が発生した場合、問題となる。浸水に対する賠償問題が必ず発生する。



### 【河川管理者の回答】

【設問 3 .】(P.2)を参照してください。

~~~~~

### 『設問 4 . 河川環境・生態系への配慮について』に関する意見

#### 1 . 「 良いと思う」と答えた方のご意見

(当日 17 .) 人が安心をもって生活できるのであれば良い。第 1 の理由として人々の安全に当たることが一番

(当日 20 .) 自然は強いものだと思うが「環境」をいうのであれば改修工事を一気にに行い、「はい、出来ました。自然がよみがえることでしょう。」といった工事はやってほしくない。配慮ある工事・工程で行ってほしい。

(事後 31 .) 河川断面図を見ると護岸や河床に野草や水草が生える様になっているが是非必要と思う。野鳥や小魚の棲息のためお願いしたい。(逆に人工の浮島等はどうだろう。)毎年、和久里周辺でカモの雛が 20 羽程度誕生して育てているのを楽しみにしている。小学生がその雛を数えながら登校する姿は何とも微笑ましい。

(事後 32 .) 多田川の馬淵橋付近では最近ホテルが見られるようになりました。改修工事が始まりますともうそのホテルが見られなくなってしまうことを残念に思っております。改修工事は人間にとって都合の良いだけではなく、自然環境に即したそして川を必要とする生物に対しても優しく配慮されたものとなりますように期待しております。

#### 2 . 「 良いとは思わない」と答えた方のご意見

(当日 10 .) 自然を大切にするために生活環境を考える。

(当日 14 .) 多田川の河中の雑草、ヨシ等一年に一度は必ず清掃に努めてほしい。

(当日 14 .) 生態系より地域住民の安全第一。

(当日 23 .) 自然に形成できる。手をかける必要がない。

(当日 28 .) 環境対策(生態系への配慮)は必要なことだと思います。しかし、先ず安全確保が最優先ではない

でしょうか？

- (事後 8.)生態系も大事だけれども、それ以上に住民の災害に対する安全が必要。
- (事後 10.)環境、生態系も大事だと思うが、災害についても配慮すべきだと思う。
- (事後 11.)清掃されていない。
- (事後 12.)生態系より我々の生活が大切。
- (事後 28.)小動物の生息地をもっと作るべき。



【河川管理者の回答】

【設問 4 .】(P.3)を参照してください。

『設問 5 . 親水整備について』に関する意見

1 . 「 良いと思う 」 と答えた方のご意見

- (当日 18.)子供たち(大人も)が遊びに来るような(釣りなど)川にしていきたい。
- (事後 16.)河川の緩傾斜堤を利用して簡単なベンチ(丸太式、コンクリート製、自然石を利用)を設ける。
- (事後 28.)堤防上を歩行コースとすべき。街灯をつけて憩いの場またはスポーツ場として利用できるよう。
- (事後 28.)河川敷内にもっと人がふれあう場を作るべき。完成後、草が大きくなり人が近づけない。
- (事後 41.)流路を中央部に設け河道とし、左右に高水敷を設け魚類の観察など水際へ近づきやすくし、改修効果を上げて貰いたい。昇降路を本区間に3箇所くらい設置して貰いたい。

2 . 「 良いとは思わない 」 と答えた方のご意見

- (当日 23.)下水が流れ汚すぎる。
- (事後 8.)常時、有効断面を確保して災害時に備える必要がある。
- (事後 10.)良いとは思わないが、現在の河川幅では改修等は困難なのは。
- (事後 11.)川の中まで近づけないほど、木が生い茂っている。

3 . 「 わからない 」 「 無回答 」 と答えた方のご意見

- (当日 27.) (親水計画?) 公共下水の完備
- (事後 1.)護岸で勾配の強いブロック積み等の場合は、100m間隔ぐらいで階段を設置してほしい。不幸にて転落等があった場合、救出するためにもぜひ必要である。親水のためにも。また、28年災害でも流されていく人たちを見ているだけでなにも出来なかったと聞く。救出のためにも階段と同じくアンカーロープをかけるための施設があれば救出にも使えたと思われる。



【河川管理者の回答】

【設問 5 .】(P.4)を参照してください。

『設問 6 . 維持管理について』に関する意見

1 . 「 良いと思う 」 と答えた方のご意見

- (当日 17.)住民に安心した生活を、また、心遣いを行うのが行政であって、住民も社会の一員として協力するのが当たり前。
- (事後 16.)ゴミ止め柵等を設けること(環境美化)(掃除等は地域で行う)
- (事後 17.)生態系への配慮も確かに必要であるが、周辺に住んだり、農業を営むものとしては、草刈り等の協働管理が大変ではないかと思う。害虫の巣となったり草が伸び放題ではパースで見るときれいなだけではすまない。地元も河川を愛する気持ちは十分あるつもりだが、何もかも地元対応だとしんどいし、県の積極的な管理をお願いしたい。

(事後 28.)組織作りに協力すべき。

2 . 「 良いとは思わない 」 と答えた方のご意見

- (当日 26.)県、市の職員が先頭に立たなければ、住民参加に期待しても無理だと思う。
- (当日 27.)年次計画によって清掃を。
- (当日 28.)河川愛護の対策としては、効果があるのかもしれませんが参加住民がその近辺では効果も薄く、住

民に負担がかかるように感じます。それに奉仕作業も多く参加者が一部の決まった人となるおそれがある。別の対策が必要と考えます。

(事後 8.) 多田川を改修されても、常時水量が少ないので中州ができ、草等茂るので常時維持管理に万全の策を講じてほしい。また、いつも美しい多田川であってほしい。以前改修された多田川の沖山さん宅付近に中州ができ草が生えているので取り除いてください。また、現在の多田川の木崎橋までの草を刈り取ってください。是非ともよろしくお願いします。

(事後 8.) 生態系のことを考えるとどうしてもゴミや土砂が堆積するので、常時美しくする必要あり。

(事後 11.) 生活に係る空き袋など多く投げ込まれているので、ゴミ防止PRなど積極的にやってほしい。

(事後 11.) 河川流域の協力が十分でない。

(事後 12.) いつも美しくしてほしい。

(事後 15.) 地域の住人の全員参加で実施する事がなかなか難しいのではないかと。一部の人の負担にならないように。

### 3. 「わからない」と答えた方のご意見

(当日 30.) 維持管理は、地元住民でと安易にいうのは楽だけど大変。そこで川に入れることが嬉しくてたまらないような川を作っておいてほしい。

(事後 14.) 一度、森川の掃除現場を見たことがあります、すごく汚れていた様に思いました。そして1~2回水が増量して怖かったことを思い出します。一日も早く整備されて魚でもいる川になればと思います。



#### 【河川管理者の回答】

【設問 6 .】(P.5)を参照してください。

#### 河川計画の策定に関する意見

(当日 21.) 北川、南川、多田川の3川が合流する河口の整備も同時に計画すべきである。昭和28 災後50年が経過し水害対策が住民の声として強く、この際、何としても組み入れるべきである。

(当日 31.) 森川について、市議の生守山本議員の所までは川幅がまあまあ広く、それより上流は非常に狭い。そのために上流の排水が出来ないと思うのでここより河川改修をやってはいかがですか。

(当日 33.) 上流の整備計画も考慮してほしい。



#### 【河川管理者の回答】

本整備計画において、上下流のバランスや事業の実現性等を考慮して、実際に工事を実施する区間を設定しています。本整備計画における河川改修が完了後、順次、その他の区間の整備計画について検討していきます。

#### 事業時期、工程に関する意見

(当日 27.) 早期改修完成を願う。

(当日 28.) 早くしてほしい！正直言って住民は生態系のことなどどうでもいいと思っている人がほとんどです。早く着工してもらいたい。このアンケートの設問4では に 印が入る人が多いでしょうが、それを理由に着工が遅くなることは避けてもらいたい。

(事後 6.) 府中地係から下流は既に整備されたが、その後上流については未だに整備されていないので早急に整備してほしい。

(事後 9.) 早期の着工と完成を祈る。

(事後 12.) 多田川、森川整備を早期にしてほしい。

(事後 16.) いつ頃までに整備が行われるのか？目標の明示がほしい。

(事後 30.) 水害が少しでも少なくなるように、また、河川が生活に活かせるように、このような計画の早急な整備をお願いします。

(事後 34.) 1日も早い対応をお願いします。





### 【河川管理者の回答】

治水安全度の向上を強く望まれていることから、本整備計画の策定を進めるとともに、早期の事業着手と完成に努力していきます。

### 具体的な工事や要望に関する意見

(当日 23.) 工事期間が長く、下流に土砂の堆積が多くなり、浚渫を早くしてほしい。

(事後 7.) 森川の浚渫と護岸工事整備を願う。

(事後 41.) 高水時には河川勾配が急で河床断面が単断面となる心配があり、曲線部の右岸側は現状維持できると考えられる。

森川については  $h/W$  の比 ( $h$  = 水深、 $W$  = 川幅) が大きいいため単断面方式で整備する方が良いと思う。



### 【河川管理者の回答】

本整備計画に基づき河川改修を実施する事で、河道断面積を大きくし、河床掘削や護岸工事に着手します。また、河川改修による効果を維持するために改修後も維持管理に努めます。

### 下流改修済み区間に関する意見

(事後 1.) 城内地区、特に R162 より海岸側について、多田川単独では回答には問題もあるが、城内地区(上竹原までぐらい)としては4河川(江古川、北川、多田川、南川)及び海岸工事計画も含めて検討願いたい。希望を以下に示す。

海水面高は洪水時でも大きな変化がない。このため R162 より下流側堤防高さ(中土堤)を低くして親水考えた河川公園を望みたい。河川断面についても通水のことも考えながら植木等も特例として認める等、その場所に合った計画を。

西津橋の架け替え計画もあると聞いているが、橋脚数が少なくなり、洪水流量をクリア出来れば(海水面高のことも考慮して)高塚、竹原橋まで公園計画は可能ではないか。(北川、江古川の中土堤も含めて)

現在架橋中の水取橋梁の高さがあれだけ必要なのか。建設費も異常に高価なはずである。管理用堤防道路の考え方を道路部と河川部門で1本で検討してもらいたい。

多田川の勾配は、異常に緩やかである。いずれ河口が浅くなれば水質の汚れが必ず発生する。上流より平常時に南川より通水し流れのある環境に配慮した多田川にしてほしい。

天井川の所も出るかもしれないが、上流域の計画で検討願いたい。

また、海には、波除けブロック又堤防等の計画も1本として計画。海岸線が海の沖に出て諸々の施設が出来ればますます河川勾配が緩くなり、多田川の水が汚れる。長期計画で全体をみつめた中で計画を。環境配慮型の護岸を水の汚れる川では、窒素分を処理する植物等が生える護岸を。

道路橋だから河川は関係ないと言わずに利用しやすい堤防、橋梁、道路とするために、西津橋、城内橋、西津橋歩道橋を見物してほしい。

あまりにも歩行者、高齢者、自転車等々のことを考えていない。

パリアフリーの時代、弱者、高齢者の考えを設計、工事に組み込み配慮し安全な道路、河川であってほしいし、横の連絡を密に希望する。



### 【河川管理者の回答】

本河川整備計画(案)では、治水、利水および環境の総合的な視点から、計画の基本的な方針や方向性を検討しています。また、関連する道路、橋梁計画等との関係についても、関係者間の協議・調整を図り計画しています。河川整備計画策定後は河川整備計画に基づき、河川改修事業を推進していくとともに、維持管理を通じて住民のみなさんと協働して親しみやすい川づくりを行っていきます。(設問1、2、3、5、6参照)

(1) R162 より下流側堤防高さ（中土堤）について。

北川と多田川を分ける堤防の高さは、北川の計画の対象とする洪水（1/100 年規模）が発生した場合に洪水を氾濫させないために必要な高さです。

(2) 河川内の公園計画（植木など）について

多田川の改修計画断面は、30 年に 1 回程度発生すると予想した洪水においても氾濫しないように川の断面（川幅や深さ）を確保しています。このため、雨の降らない平常時には、川の中に多くのゆとりがありますが、計画相当の雨が降ると川の断面一杯の洪水が流れることとなります（洪水時に必要な川の断面です）。このため、現在、多田川の計画断面には河川の中に公園や植木などを確保するゆとりはありません。

北川においては、河川管理者である国が決定しますが、基本的な考え方は県と同じものと考えます。

(3) 水取橋梁の高さについて

橋梁の高さは河川の基準、道路の基準を満足し、かつ、利用する人の利便性、経済性を考慮して建設しています。北川堤防高や道路等の周辺立地条件を考慮した計画で過大な投資はしていません。

(4) 水質について

小浜市が実施する公共下水道整備により多田川、森川の水質改善を進めていきます。公共下水道完成後は、きれいな水が多田川下流部へ流れて行くことが見込まれます。（設問 5 参照）

(5) 環境に配慮した護岸について

多田川河口～辻堂橋の下流改修済み区間は、海水の影響を受ける区間で植物などの生育は難しいと考えられます。海水の影響を受けない辻堂橋から上流区間については、植物の成育に配慮した護岸を計画するなど、河川環境保全対策を実施していくことを考えています。（設問 4 参照）

(6) 河川計画と他計画との関係について

河川、道路、橋梁等の施設計画策定に当たっては、関係者間で計画の協議・調整を図り、総合的な計画を進めていきます。